

2021 年 1 月 30 日

2020 年度聖路加国際大学大学院看護学研究科
課題研究

精神障害をもつ親と子どもに関わる専門職・関係機関に
よる親子分離前・親子分離中・家庭復帰後の
支援内容に関する文献検討

A Literature Review on The Professional Support Provided for
Parents with Mental Disorders and Their Children: Before, During,
and After Periods of Parent-Child Separation

学籍番号 19MN002

氏名 秋元 夏海

要旨

【目的】本研究は、精神疾患を持つ親と子どもへの親子分離に関わる専門職・関係機関による支援について文献検討し、どのような専門職・関係機関が親子分離前・親子分離中・家庭復帰後にどのような支援や連携を行っているかその支援内容について明らかにし、親子分離を経験する精神障害を持つ親と子どもへの多職種・多機関の連携のあり方、保健師の役割について示唆を得ることを目的とした。

【方法】国内文献を対象として医中誌 Web、CiNii、Google Scholar を用い、検索キーワードは「親子分離」、「多職種」、「支援内容」、「精神障害を持つ親」に関連する用語を検索エンジンごとに設定し、会議録を除き文献検索を行った。得られた文献 4272 件について目的に従い除外し、得られた 37 文献にハンドサーチにより 5 文献を加え 42 文献を分析対象とした。得られた文献から専門職および関係機関の具体的な支援内容に関する記述について親子分離前・親子分離中・家庭復帰後の支援時期に着目し、それぞれの支援期間に行われている支援内容についてコードを抽出し、意味内容に基づきながら質的に分析を行った。

【結果】合計 474 のコードが抽出された。親子分離前、親子分離中、親子分離後に共通し【親子の回復や力を高めるための支援】、【子どもの安全を最優先にした支援】、【親子の生活状況やニーズを把握するための支援】、【家族を支えるネットワークを構築し地域生活を支えるための支援】の 4 カテゴリーが抽出された。親子分離中にはこれに加え【親子の関係づくりのための支援】が抽出され 5 カテゴリーであった。また、【全ての支援時期に共通した支援】の 1 カテゴリーが得られた。親子分離中の【親子の関係づくりのための支援】は他のカテゴリーと相互に影響しており、親子分離中の支援内容は家庭復帰後の支援内容に継続していた。支援内容には専門職・関係機関による単独支援および連携して行われた支援内容が含まれた。

【結論】【親子の関係づくりのための支援】は他のカテゴリーと相互に影響していた。多職種・多機関の連携のあり方として、親子の関係づくりへの支援を包括的に行うこと、親子の変化に対応すること、専門職同士の関係性も含め親子の支援ネットワークを構築するための連携・協働の必要性が示された。保健師の役割として、親子に関わる多職種・多機関と共に親子の回復や力を高めることや、家族全体への継続的な支援を行い親子の孤立を予防することが示された。